

令和5年度

栃木県地球温暖化防止活動推進員育成講座【基礎編】

第1回:令和5年12月21日(木)13時30分～15時30分

第2回:令和5年12月22日(金)13時30分～15時30分

栃木県保健環境センター大会議室

栃木県地球温暖化防止活動推進センター

プログラム／タイムスケジュール

(1)開会

- ・育成講座の説明（5分）

(2)講座

- ・講座①:気候変動対策の最新情報（30分）

—休憩—（5分）

- ・講座②:デジタル学習教材を活用した訪問講座実施方法の説明（30分）

—休憩—（5分）

- ・講座③:脱炭素ガイドブックを活用した従業員向け講座の説明（30分）

(3)ふりかえり

- ・アンケート（5分）

(4)閉会

講座①: 気候変動対策の最新情報

(1) 2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ

はじめに

- ・ 地球温暖化による気候変動の影響は、私たちの生活に及んでいます。
- ・ この影響はさらに深刻化すると予測され、地球温暖化を食い止めるには、今、行動を起こす必要があります。

気候変動による様々な影響



大規模な台風の発生



豪雨による浸水被害



熱中症リスクの増加

21世紀末の栃木（有効な対策を講じない場合）

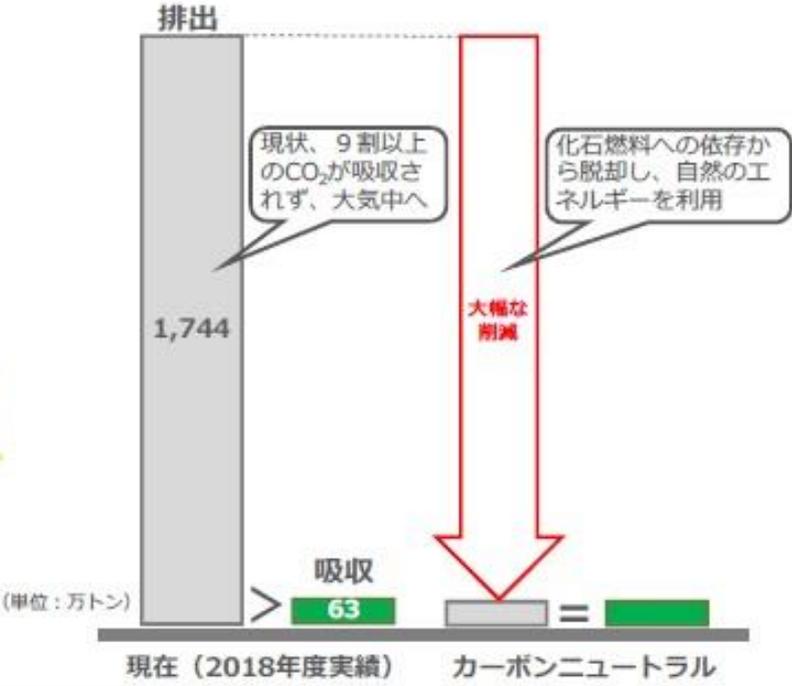
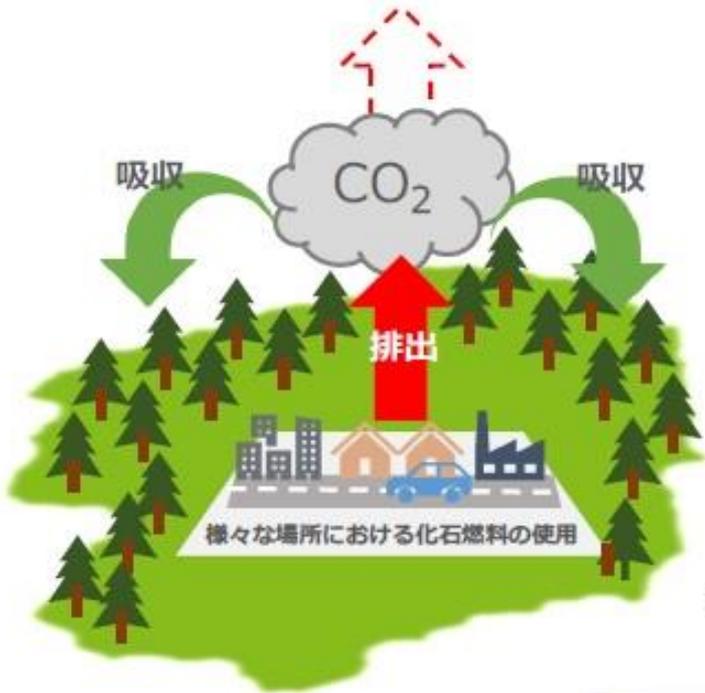
栃木県（宇都宮）	2020年	21世紀末
年平均気温	15.0℃ (過去100年間で 約2.33℃上昇)	約17.5～18℃
猛暑日（※）の年間日数 ※日最高気温35℃以上	8日 (過去80年間で 約6.2日増加)	約1ヶ月 (特に県南・県央部)
熱帯夜（※）の年間日数 ※日最低気温25℃以上	12日 (過去80年間で 約4.4日増加)	約1.5～2ヶ月 (特に県南・県央部)
冬日（※）の年間日数 ※日最低気温0℃未満	45日 (過去80年間で 約44.5日減少)	約1ヶ月

出典：栃木県「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」

地球温暖化を防ぐには

- 化石燃料の使用等により、温室効果ガス(CO₂等)が増加し、気温が上昇しています。
- 地球温暖化を防ぐには、CO₂の排出を森林が吸収できる量まで減らす必要があります。

カーボンニュートラルのイメージ (森林が吸収できる量までCO₂の排出を削減)



カーボンニュートラル実現に必要な取組等をロードマップで示します

出典: 栃木県「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」

栃木県のCO₂排出状況

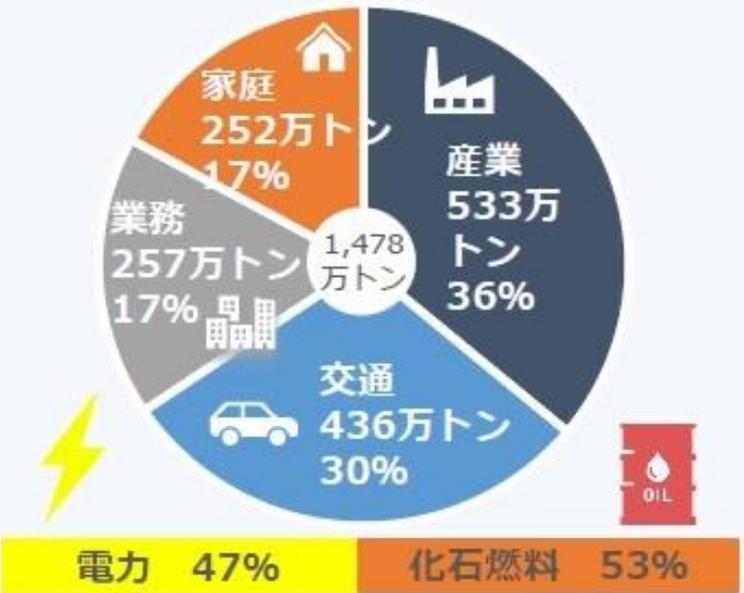
・現在の栃木県のCO₂排出量1,744(万トン)※は、エネルギー由来が全体の85%、非エネルギー由来が全体の15%を占めています。

※すべての温室効果ガス(CO₂、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン等)をCO₂に換算したもの

・エネルギー由来の排出量のうち、産業分野が全体の36%、交通分野が全体の30%を占め、この2分野で全体の66%を占めています。

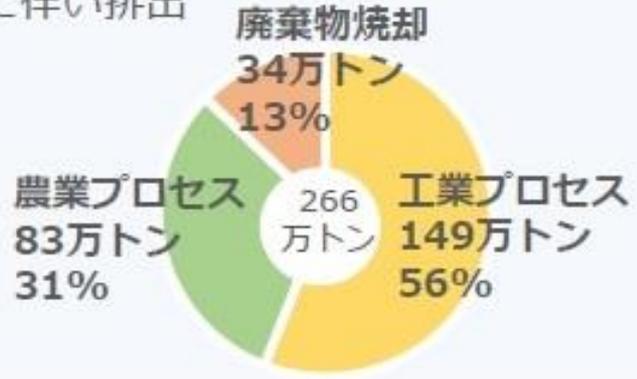
エネルギー由来のCO₂ 1,478 (万トン) 85 %

燃料の燃焼、他者から供給された電気
又は化石燃料の使用に伴い排出



非エネルギー由来のCO₂ 266 (万トン) 15 %

工業プロセスの化学反応や廃棄物の焼却に伴い排出

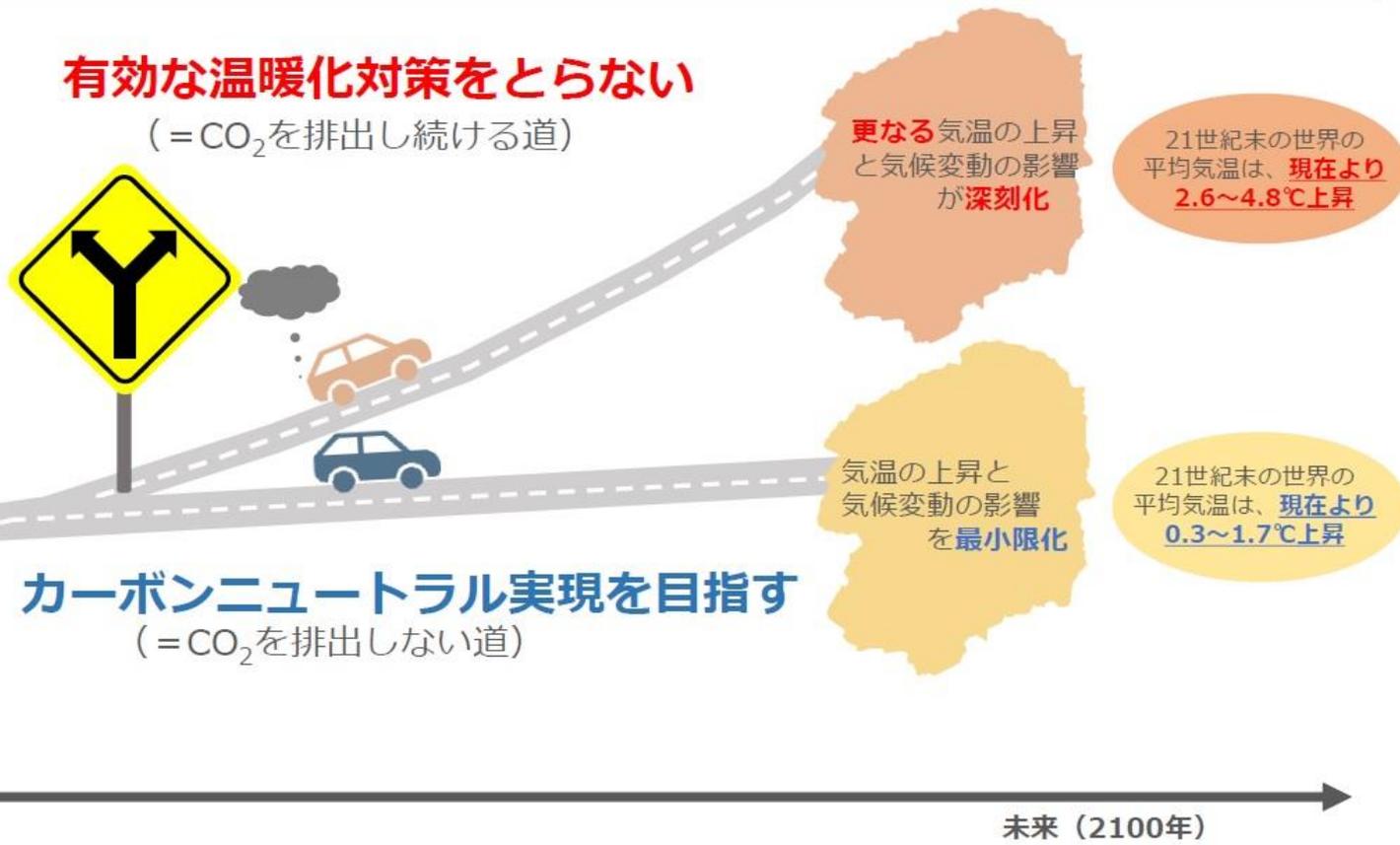


出典: 栃木県「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」

未来への分岐点

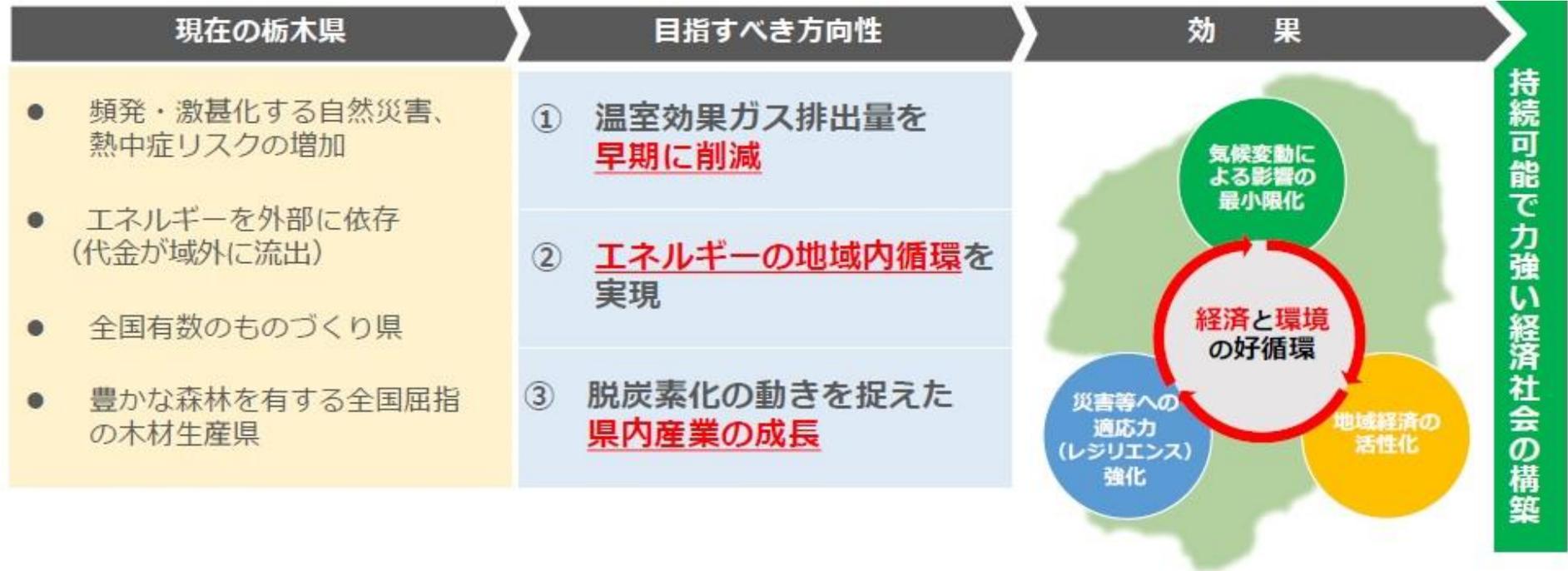
・ CO₂の排出を抑えないと、「未来のとちぎ」は暮らしにくくなっている可能性があります。

どちらの道に進むのか、今が分岐点です



出典: 栃木県「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」

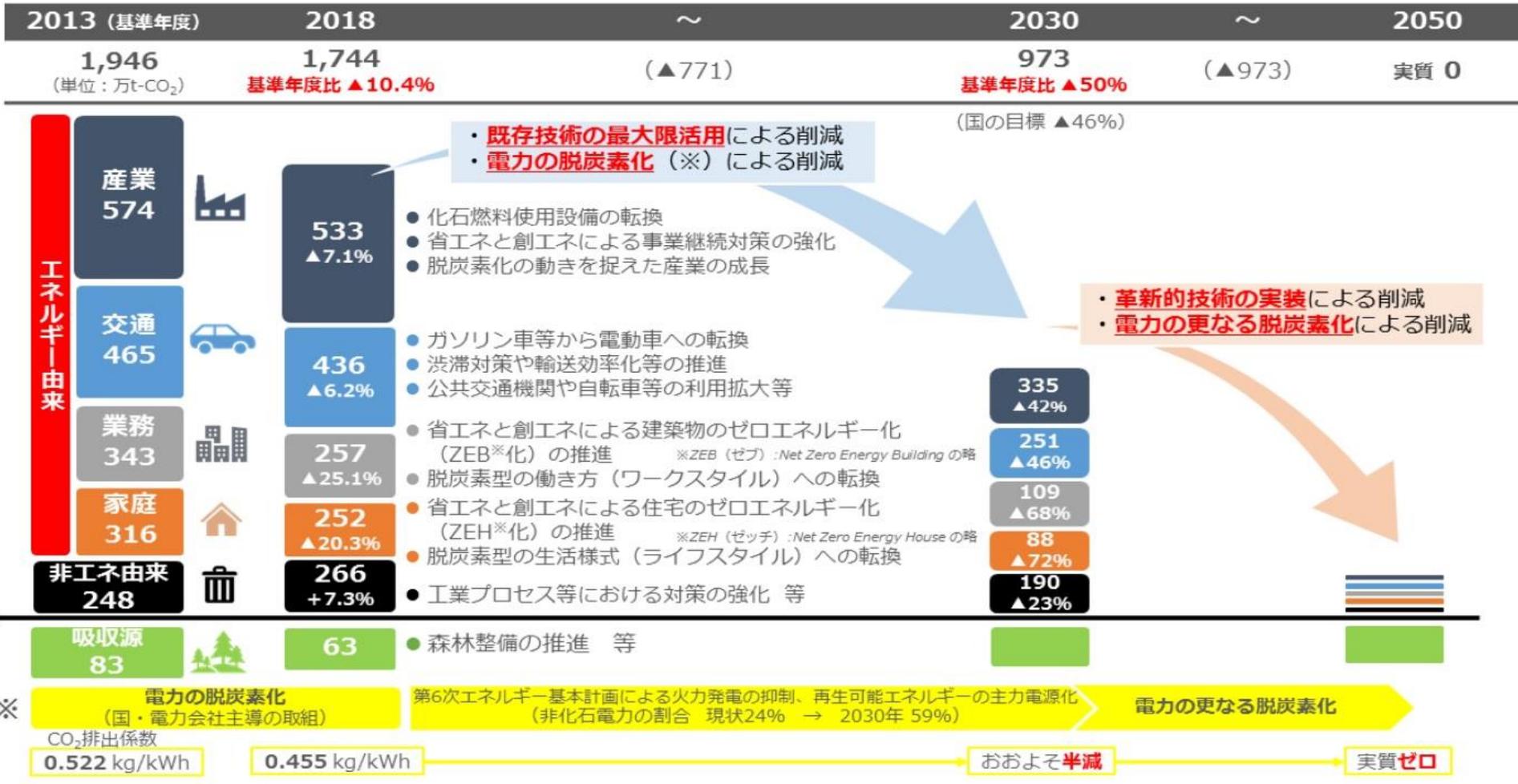
ロードマップが目指すもの



出典：栃木県「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」

各分野における主な取組の柱等

- 化石燃料の使用等により、温室効果ガス(CO₂等)が増加し、気温が上昇しています。
- 地球温暖化を防ぐには、CO₂の排出を森林が吸収できる量まで減らす必要があります。



(2)脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)とは

・脱炭素につながる**新しい豊かな暮らし**の実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信します。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO2削減が求められます。



しかし、国民・消費者の行動に具体的に結びついているとは、まだ言えない状況です。



① 例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示しします。



② 国、自治体、企業、団体等で共に、**国民・消費者の新しい暮らし**を後押しします。



国際的にも（G7・G20等において）、

- ・我が国から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイルの提案・発信**
- ・**官民連携によるライフスタイル・イノベーションの国際協調を提案・発信**



国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出・マーケットインを促します。

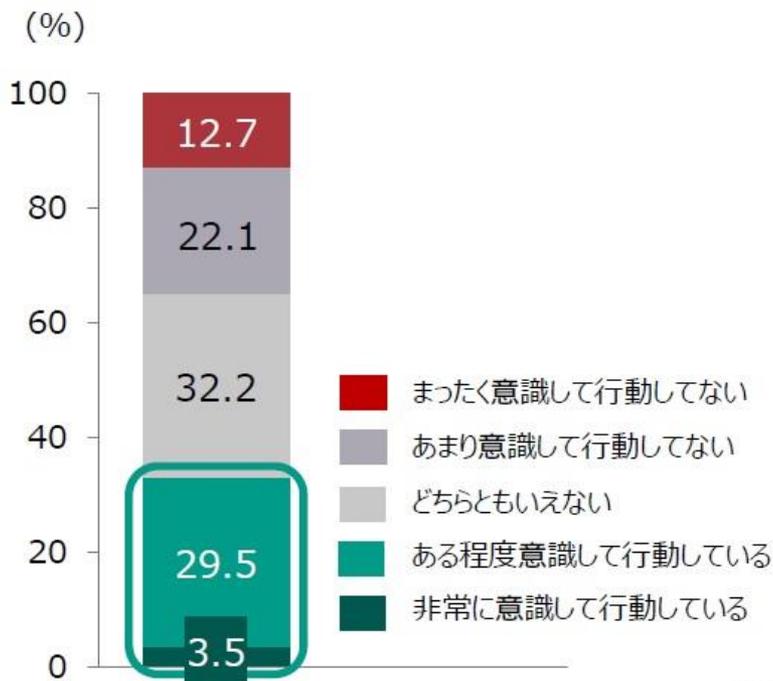
デコ活の背景

・国民・消費者の9割が脱炭素という用語を認知している一方、そのために何をしたらよいか分からないなど、具体的な行動に結びついていない状況にあります。

「脱炭素」という言葉を知っている人は90.8%、
行動に移している人は33.1%

脱炭素について若年層では、「よくわからない」、
「意識・貢献できる瞬間がない」と回答した人が約6割に

どの程度脱炭素社会に向けた行動をしているか



脱炭素社会の実現に向けて取り組むことについて、
正直どのように思うか（とてもそう思う+そう思う）
（10-20代の回答）

(%)

正直、よくわからないので、やるべきことを決めてくれたら従う	59.4
正直、意識・貢献できる具体的な瞬間がない	58.5
正直、自分一人でやっても変わらない	56.9
正直、取り組むモチベーションが続かない	50.2

出典：博報堂「第二回 生活者の脱炭素意識&アクション調査」～2022年3月調査結果～

デコ活の全体像(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの絵姿)

・今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する、新しい暮らしを提案します。

デコ活 | 暮らしの中のエコろがけ

脱炭素につながる **新しい豊かな暮らしの10年後**

凡例：トロフィーガイド
 機会がある方は
 みんなで

- 太陽光発電 年5.3万円 (災害時にも使える)
- 住宅の断熱化 (窓・壁・床・扉) 年9.4万円 (ヒートショック防止)
- 高効率給湯器 年3.5万円
- はかり売り・自動決済 年3時間 (好きなもの好きなだけ)
- LED照明 年3千円 (年0.4時間)
- 省エネ家電 (冷蔵庫・エアコン・HEMS) 年2.8万円
- こみの削減・分別 年4千円
- クールビス・ウォームビス 年4千円
- 地産地消・食べきり 年9千円
- 節水 (キッチン・洗濯機・シャワー・トイレ) 年1.6万円
- 持続可能なファッション
- 公共交通・自転車・徒歩 年1.2万円
- 次世代自動車 年7.5万円 (自動運転で年323時間、給油不要なら年2時間)

毎月**3万6千円**浮きます (年**43万円**)
 一日プラス**1時間**以上を好きなことに (年**388時間**)

※新しい暮らしの根拠や数値のバックデータは、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>から確認を。

新国民運動の愛称＝「デコ活」

・「**デコ活**」とは「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称であり、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。



愛称 国民に広く公募し（8,200件の応募）、愛称公募選定会議で「**デコ活**」※に決定（生みの親↑）
 ※二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉

普及浸透
↓
実践

◆ ロゴ・メッセージ・アクション

デコ活
 暮らしの中のエコろがけ

◆ “暮らしの10年ロードマップ”を
 年度内に策定し、計画的に実行

- デコ活アクション** まずはここから
- デ** 電気も省エネ 断熱住宅
 - コ** こだわる楽しさ エコグッズ
 - カ** 感謝の心 食べ残しゼロ
 - ツ** つながるオフィス テレワーク

「デコ活アクション」について

分類		アクション
まずはここから	住 デ	電気も省エネ 断熱住宅 （電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む）
	住 コ	こだわる楽しさ エコグッズ （LED・省エネ家電などを選ぶ）
	食 カ	感謝の心 食べ残しゼロ （食品の食べ切り、食材の使い切り）
	職 ツ	つながるオフィス テレワーク （どこでもつながれば、そこが仕事場に）
ひとりでのCO2 が下がる	住	高効率の給湯器、節水できる機器を選ぶ
	移	環境にやさしい次世代自動車を選ぶ
	住	太陽光発電など、再生可能エネルギーを取り入れる
みんなで実践	衣	クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに取り組む
	住	ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する
	食	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
	移	できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
	買	はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う
	住	宅配便は一度で受け取る

※デコ活アクションの詳細については、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/action/>から確認を。（今後随時追加更新予定）

デコ活の内容

- ・国、自治体、企業、団体、消費者等の主体が、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。

デジタルも駆使して、多様で快適な **働き方、暮らし方** を後押し（テレワーク、地方移住、ワーケーションなど）



1

脱炭素につながる新たな暮らしを支える **製品・サービス** を提供・提案



2

インセンティブ や効果的な情報発信（気づき、ナッジ）を通じた行動変容の後押し（消費者からの発信も含め）



3

地域 独自の（気候、文化等に応じた）暮らし方の提案、支援



4



脱炭素につながる新たな豊かな暮らしの全体像を**知り、触れ、体験・体感**してもらう様々な**機会・場（応援拠点）**を**アナログ・デジタル**問わず提供



今年度以降、地域・全国へ

製品・サービス・取組の登録と発信

- ・ポータルサイト (<https://ondankataisaku.env.go.jp/decoatsu/>) において、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを支える取組、製品・サービス」の登録を広く受け付けています。
- ・登録いただいたものは、ポータルサイトやSNS等で発信・PRします。



1 テレワークなどの働き方、暮らし方での後押し

デジタルも駆使して、多様で快適な働き方、暮らし方を後押し(テレワーク、地方移住、ワーケーションなど)

<p>GREEN WORK STYLE LEの推進 東急不動産ホールディングス株式会社</p>	<p>富士通の新しい働き方 富士通株式会社</p>	<p>未来へつなぐ持続可能なまちかみしほろ 北海道工務町</p>	<p>merit TUDI テレワークを最大限活用 Steamer lane studio</p>
--	--------------------------------------	---	--

一覧を見る →

3 インセンティブや情報発信を通じた行動変容の後押し

インセンティブや効果的な情報発信(気づき、アჯ)を通じた行動変容の後押し(消費者からの発信も含め)

<p>OFF & GO 東急沿線お出かけ節電プロジェクト「OFF & GO」 東急株式会社</p>	<p>未来への来訪者 脱炭素が学べる謎解き宝探しゲームの開催 札幌市</p>	<p>運容業の脱炭素・脱プラスチックの取り組み 全英理百生活衛生同業組合連合会</p>	<p>coki 脱炭素経営やESG各種PR支援・情報発信 株式会社Sacco</p>
--	---	--	---

一覧を見る →

2 豊かな暮らしを支える製品・サービスで後押し

脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービスを提供・提案

<p>「SECOND HAND (セカハンド)」で中古... 株式会社キア</p>	<p>データ収集によるサステナビリティ活動支援 富士通Japan株式会社</p>	<p>ECO & QUALITY E&Qマーク付リサイクルトナーでCO2排出... 一般社団法人日本カートリッジリサイクル工業会(AJCR)</p>	<p>プラスチックボトル・運搬不要な水道水浄水... ウォータースタンド株式会社</p>
--	---	---	---

一覧を見る →

4 地域独自の暮らし方での後押し

地域独自の(気候、文化等に応じた)暮らし方の提案、支援

<p>せんだいE-Action せんだいE-Action実行委員会</p>	<p>富山県地産地消キャンペーン 富山県</p>	<p>陸上輸送、海上運送におけるCo2削減 ユニチャーム株式会社</p>	<p>「かながわ脱炭素ビジョン2050」を作成 神奈川県</p>
--	-------------------------------------	---	---

一覧を見る →

「新しい豊かな暮らし」に向けた個別アクション

・「ファッション」、「住まい」、「デジタルワーク」で、新しい豊かな暮らしを提案します。

1



【ファッション】

若者含めた全世代が働きやすい服装を選べる“**オフィス服装改革**”を呼びかけます。



業界の皆様と連携し、**サステナブルファッション**を浸透させます。

2



【住まい】

快適で健康な暮らしにもつなげる**住宅の断熱リフォーム**促進キャンペーンを展開します。

3



【デジタルワーク】

テレワークの率先垂範 を実行します。



国立公園のデジタル化（ワーケーション・インバウンド対応）と民間・自治体と連携した積極誘致を促進します。

ご静聴ありがとうございました。

